

平成 20 年 12 月 12 日

2008 年度開始特別研究委員会「木質バイオマス資源の有効利活用特別委員会」
第 3 回議事録

開催日時：平成 20 年 9 月 29 日 13:30～16:30

開催場所：建築会館会議室

出席委員：浅野主査、五十田幹事、伊香賀委員、大熊委員、小瀬委員、角陸委員、小林委員、清家委員、槌本委員、中島委員、高村委員（記）

配布資料：

- 3-1 2008 年度開始特別研究委員会「木質バイオマス資源の有効利活用特別委員会」第 3 回 議事次第（五十田幹事）
- 3-2 2008 年度開始特別研究委員会「木質バイオマス資源の有効利活用特別委員会」第 2 回議事録（高村）
- 2-3 WG 検討事項・組織（案）（中島委員）
- 3-4 ～伐採木材の取扱いに関する円卓会議～企画書・意見整理表、木材の炭素貯蔵効果に対する考え方？（中島委員）
- 3-5 バイオマスエネルギー利活用検討 WG における検討事項（小林委員）
- 3-6-1 木質バイオマスに関する情報整理（既往文献の整理）（小林委員）
- 3-6-2 文献リスト（小林委員）
- 3-7 海外文献（五十田幹事）

議事：

(1) 新委員の紹介

新委員として大熊委員と小瀬委員の紹介があった。その後、各委員が自己紹介を行った。

(2) 前回議事録の確認

資料 2-2 にもとづき前回議事録の確認を行い異議なく了承された。

(3) 公募状況の報告（五十田幹事）

6 名の公募があり、研究内容や地理的な条件を勘案して山羽基氏（中部大学）、浦上健司氏（日本大学）、中村裕幸氏（株式会社 DCMC）に決定し、手続き中である旨報告があった。次回委員会より参加して頂く。選考外の 3 名に対して旅費は支出されなくても参加して頂けるか五十田幹事に確認して頂く。

(4) 新委員について（五十田幹事）

浅野先生（秋田県立大学）の意向を五十田幹事が確認中である。

(5) 来年度の大会での PD の実施について（五十田幹事）

来年度の大会において PD を実施しなければいけないわけではない。

(6) 文献の共有化について（五十田幹事）

文献を pdf 化して学会のサーバーを利用して共有することが可能であることを確認済み。

(7) ワーキンググループの内容と構成について（五十田幹事）

資料 3-1 にもとづき、ワーキンググループの内容と構成及び今後のスケジュールについて説明があった。

(8) 資源のライフサイクルワーキンググループ（仮称）の概要について（中島委員）

資料 3-3 にもとづき、検討概要と検討項目と組織体制（案）について説明があった。

(9) バイオマスエネルギー利活用ワーキンググループの概要について（小林委員）

資料 3-5 にもとづき、検討事項と検討項目と検討内容について説明があった。調査対象範囲について今後検討する。

(10) 情報提供

(10)-1 伐採木材の取り扱いに関する円卓会議について（中島委員）

資料 3-4 にもとづき伐採木材の取り扱いに関する円卓会議について説明があった。また、木材の炭素ストック変化量の考え方について説明があった。円卓会議に本委員会から出席する方向とした。出席者の人選について中島委員に検討して頂く。

(10)-2 長野県北部の伐採現場などの視察報告（浅野主査）

長野県北部における伐採現場、原木市場、製材工場、プレカット工場の視察報告があった。

(10)-3 スウェーデンの伐採現場の視察報告（清家委員）

スウェーデンの伐採現場の視察報告があった。

(10)-4 調査文献について（小林委員）

資料 3-6-1、3-6-2 にもとづき木質バイオマスに関する既往文献を整理した結果について報告があった。

(10)-5 海外事例について（五十田幹事）

海外事例について紹介があった。今後海外事例については各委員が気付いたものを情報提供として提供することとした。

(11) 意見交換

以下の点について意見交換した。

- ・木材のエネルギー利用について。
- ・木材のストックの仕方について。

(12) 今後について

- ・今年度の達成目標について各ワーキンググループでまとめる。
- ・今年度は情報収集を主とする。
- ・講演会を開催する。スケジュールについて五十田幹事に検討して頂く。
- ・環境モデル都市の情報提供（清家委員）。

(13) 次回、次々回委員会について

次回：12月12日（金）13:00

次々回：2月19日（木）13:30